

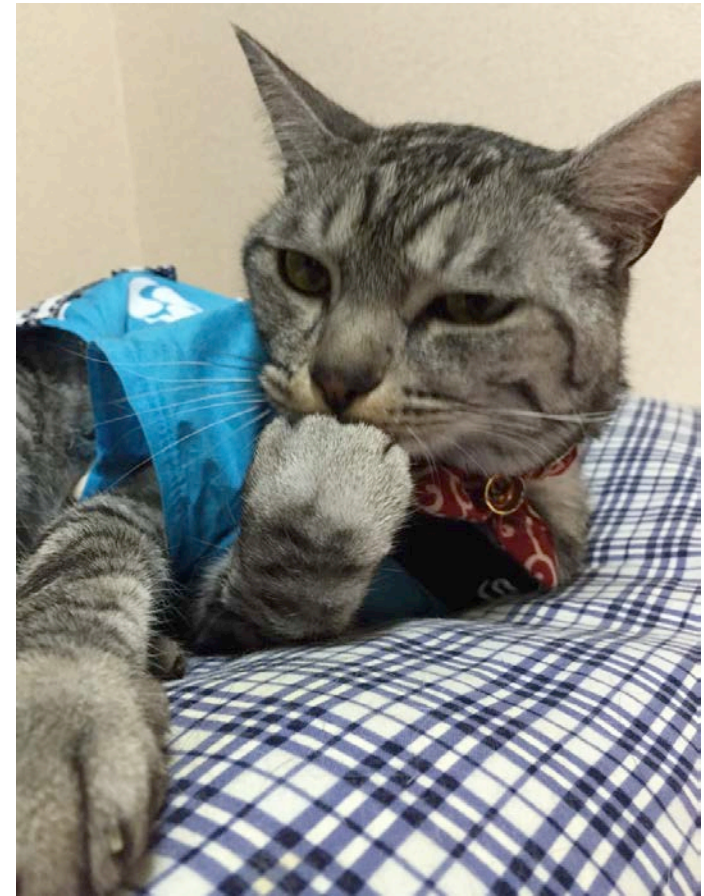
皮膚科紹介



皮膚の病気って？



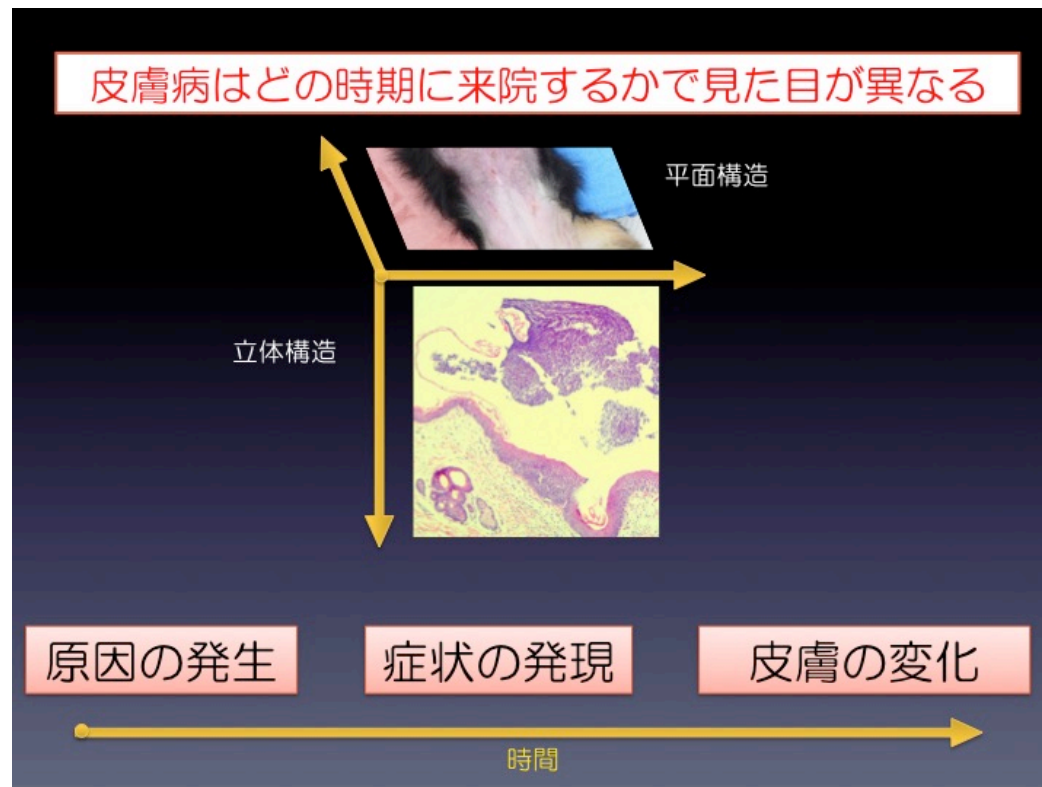
- 外からの刺激や内面的な病気・変化によって皮膚の構造にトラブルが発生します。
- 赤みや痒み、しきりに舐めるといった仕草が見られたら皮膚病のサインかもしれません。
- ワンちゃんには比較的多い病気です。
- 猫ちゃんが皮膚病の時には大きな病気が隠れていることもあるので注意しないといけません。



皮膚病の診察について



- 皮膚病は時間の経過により、複数の病気が混じることがあります。そのため、まずは病気を整理することから始めます。



皮膚病の診断について



- 問診、身体検査、各種検査により、それぞれの皮膚病を治る病気、付き合っていく病気、治らない病気に分けます。

治らない病気なのに、治ることを目標にした治療を続けるなど、治療のゴールを間違えると負担が大きくなることもあるからです。



皮膚病の治療について



■ 治る病気

- ・・・根治を目指して治療をします。

■ 付き合っていく病気

- ・・・必要な時に必要な治療をし、薬を使わないで良い期間を長くすることを目指して治療をします。

■ 治らない病気

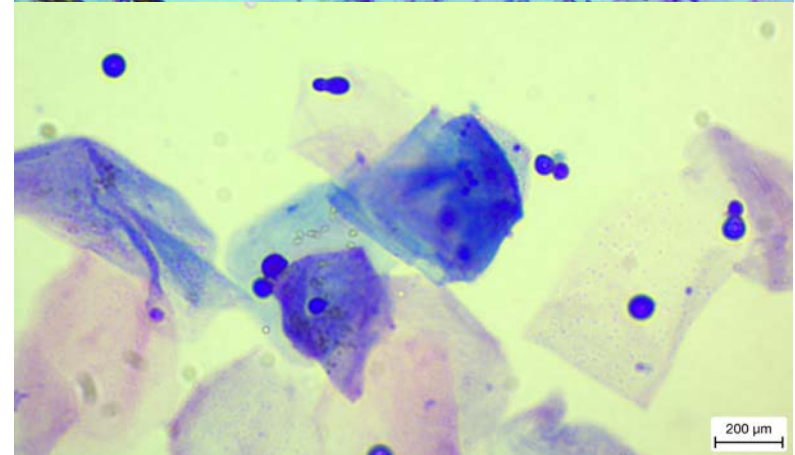
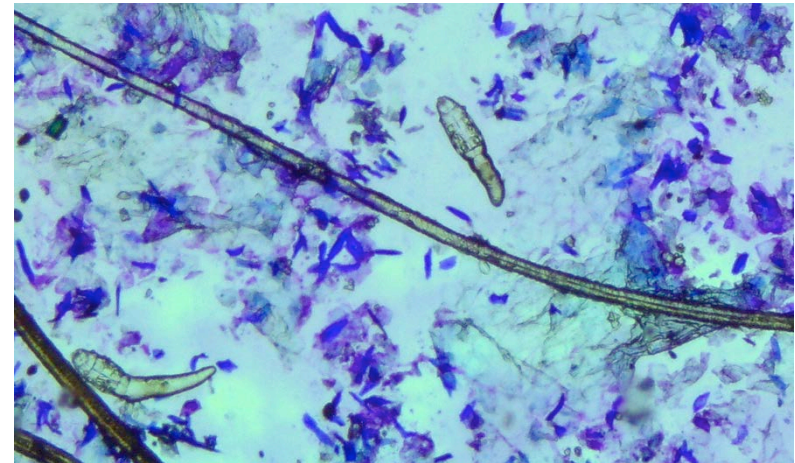
- ・・・病気のストレスを軽くすることを目指して治療をします。

診察の手順①



- 問診
- 身体検査
- 皮膚検査
- 投薬の反応

により、診断・治療を行います。



診察の手順②



手順①以外にも検査が必要だと判断された場合

- 血液検査
- 超音波検査
- 細菌培養・感受性試験
- 真菌培養

などを行います。

* 下線は外注検査なので、結果が出るまで少し時間がかかります。



診察の手順③



さらに検査が必要だと判断された
場合

- 皮膚病理検査

を行います。

* 鎮静＋局所麻酔、または短時間
の全身麻酔が必要になります。

